



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2022年4月28日

企業・団体名 社会福祉法人あかね会

代表者名 栗林 実世治

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和3年8月6日（宣言日）～令和4年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 障がい者グループホーム『あさひの家』を開設します。障がいのある方が地域で安心して「自分らしく生きる」ための支援や就労支援を行います。また、同施設内の地域交流スペースを子どもや地域の方が集える場として提供します。</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月1日に障がい者グループホーム『あさひの家』がオープンした。部屋は7室あり、令和4年3月末時点で満室。グループホーム利用者は、平日の日中は就労のため外出している。 ・地域交流スペースの活用については、地域の方を対象としたイベントや職員の慰労のための食事会等を実施するも、単発的で手探りの状態が続いている。
2	<p>【目標】 既に開所している企業主導型保育所・事業所内保育所の運営のさらなる充実のほか、「放課後児童健全育成事業」、「こども食堂(仮称)」、「配食サービス」の新規事業の実現にも力を入れていきます。そして、地域の子どもや高齢者にとって、便利で安全・安心なまちづくりを目指します。</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業主導型保育所・事業所内保育所の運営については、保育園責任者と法人本部との情報交換をこれまで以上に密に行うことで、園児・保護者・職員に関することへの早い対応や経費等の処理の円滑化が可能となった。 ・「放課後児童健全育成事業」、「こども食堂(仮称)」は、法人の体制が変わったことで、事業プランから外れた。「配食サービス」は運営中だが、ニーズとコストのバランスを考え、今後継続か否かを検討する。
3	<p>【目標】 2024年までに、外国人雇用率を法人内職員数の10%にする。また、障害のある方を毎年1人以上雇用する。</p> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人(日本人との既婚者含む)職員は、法人内に13名(令和4年3月末時点)在籍中。7月末までにさらに4名の雇用が決まっており、外国人雇用率は、8%後半から9%となる予定。 ・障害のある職員は、法人内に5名(令和4年3月末時点)在籍中。 ・近隣の支援学校と連携し、毎年職場体験の受入れを行っている。

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。